



「見なおそう家庭の中できること」
～見なおそう家庭の中できること～
服部学園理事長・校長 服部幸應氏
起しながら講演されました。

本から消えつつあります。子どもが3歳～8歳の小さい時に、家族一緒に食事をしながら、その家の規律やルールを教えることが大事です。
「100匹の魚を与えるよりも、釣り針と釣り糸の使い方を教える」という言葉があります。社会という大海には、食べ物を与えるだけでなく、生きる方法を教えるなさいといつこことです。

また、高校生を対象にした調査で「先生や親を尊敬しますか」という質問をすると、中国、韓国、米国では8割以上が「尊敬する」と答えるのにに対して日本は2割しかいません。

課題は家庭にあります。「食育とは、自分で生きる手段を教えること。家族一緒に食事を取りながらマナーを覚え、子どもたちにおふくろの味を伝える生活を取り戻しましょう」と呼びかけました。

（増川氏）すべての子が参加できるように配慮して、家庭科の時間に計画書を作り、担任も親への声掛けや家庭訪問もしました。当日は、持つて来られない子がいるのではないかと、余分に弁当を持ってきた先生もいました。（長田氏）学校が1つになつて臨みました。（服部氏）弁当の日は、現在、全国で6

（長田氏）本日は梅林中学校の「食育・弁当の日」をみなさんにも紹介します。始める背景にもなつた当時の学校の様子を教えてください。

（大原氏）弁当の日を始めたころの梅林中は、遅刻は当たり前、先生の話を聞かず授業が成立しない。校舎破損や放火事件まで起き、警察にパトロールしてもらつよう状態でした。（増川氏）自信をなくした子どもたちに自信を取り戻してもらつたため、PTAと一緒に弁当の日を始めました。

（長田氏）当日、弁当を持って来られなかつた生徒や、非協力的な親はいなかつたのですか。（増川氏）すべての子が参加できるよう（大原氏）弁当の日の前日、近所のスーパーに行くと、いつもより親子連れが多く、楽しそうに話しながら食材を買つていました。自分の作ったお弁当に登校しました」「姉の分も作つてくれました。ありがと」といつ声が寄せられました。

（大原氏）弁当の日は、現在、全国で600校くらい実施しています。どの問題を抱えていた学校ですが、ものを作ることに取り組むことで、協力しない親も協力するようになり、良い結果が出ています。それまで関心を示してもらひえず、放つておかれた子どもたちの意識が向上し、行動が変わつてきました。先生方、本当にありがとうございました。

（増川氏）子どもたちや保護者の声をお聞かせください。（長田氏）子どもたちは「少し緊張したけど、お母さんが手伝つてくれた」「作ってくれる人の大変さが分かった」「ムリムリと思ったけど、自分でもいい出来栄えだと思う」と感想を書きました。保護者は「早起きして頑張つていました。いつもより元気になりました。ありがと」といつ声が寄せられました。

（大原氏）弁当の日の前日、近所のスーパーに行くと、いつもより親子連れが多く、楽しそうに話しながら食材の絆をより深くしてきました。（梅林中学校の弁当の日、みんながひとつになつた取り組みだからこそ続いているのだろうと感動しました。

基調講演

福岡市大会 アクロス福岡シンフォニーホール 平成24年12月6日

早寝・早起き・朝ごはんフォーラム



パネルディスカッション

◎コーディネーター…

文部科学省生涯学習政策局 社会

教育課 地域・学校連携推進室

連携支援係長 長田徹氏

服部学園理事長・校長

中村学園大学栄養科学部教授

福岡市立宮竹中校長 増川郁子氏

福岡市立梅林中父母教師会元会長 大原圭路氏

波村眞一氏



てよかつたと思いました。
(波村氏) 献立を考えることや、早起きが面倒だと考えている子も、友達の弁当と比べるのが楽しくて、はりきつて作っています。

前回よりも工夫する姿勢も出てきました。
(長田氏) 食育の専門家として、PTAに伝えたいことをお話ししてくださいます。
(三成氏) 親子の絆が深まり、食べるここの重要性が分かることは、心の栄養になります。子育てのポイントは食育。朝のみそ汁一杯からスタートできます。

最後に、長田氏がフォーラムのまとめを、音楽に乗せて映像で紹介してくださいました。映像の最後はこう締めくくられました。

（長田氏）食育の専門家として、PTAに伝えたいことをお話ししてくださいました。

（三成氏）親子の絆が深まり、食べるここの重要性が分かることは、心の栄養になります。子育てのポイントは食育。朝のみそ汁一杯からスタートできます。

- お聞かせください。（長田氏）子どもたちや保護者の声を（増川氏）参加した子どもたちは「少し緊張したけど、お母さんが手伝つてくれた」「作ってくれる人の大変さが分かった」「ムリムリと思ったけど、自分でもいい出来栄えだと思う」と感想を書きました。保護者は「早起きして頑張つていました。いつもより元気になりました。ありがと」といつ声が寄せられました。
- 保護者の声
- お聞かせください。（大原氏）弁当の日の前日、近所のスーパーに行くと、いつもより親子連れが多く、楽しそうに話しながら食材の絆をより深くしてきました。（梅林中学校の弁当の日、みんながひとつになつた取り組みだからこそ続いているのだろうと感動しました。

福岡市PTA協議会 PTA活動災害保障制度のお知らせ

安心してPTA活動を行って頂くために

「PTA活動災害保障制度」

(PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険)

PTA活動中の事故による「ケガ」と「損害賠償責任」を補償します。

(年間を通じてPTAが主催または共催する行事が対象となります。)

※保障制度の詳細については、制度取扱代理店にお問い合わせください。

●制度に関するお問い合わせ先：制度取扱代理店株式会社コーリン(福岡市PTA協議会保障制度事務局)

TEL: 0120-228-553 (受付時間：平日午前9時～午後5時 土・日・祝日、年末年始を除く)

●制度引受保険会社：エイアイユー インシュアランス カンパニー (2013年4月1日以降) AIU損害保険株式会社

2012年11月現在の内容です。
承認番号「A-000344」



大地志賀島 大会引き網

11月18日
美和台小学校
多々良小学校
香椎下原小学校
青葉小学校
PTA

学年の違う児童が一緒に劇を見ることで、お互いを思いやる気持ちについて考え、心を豊かにしてほしいとPTAが企画し、福岡市に拠点を置く「劇団風の子九州」と打ち合わせを重ね

晴天の下、志賀島で地引き網大会が行われました。4校合同主催による本大会も今年で3年目を迎えます。それぞれの学校から親子300名が集い、ます

平成24年度PTA個人表彰・団体表彰受賞一覧(敬称略)

個人の部

福岡市教育委員会表彰

正田 敏明

日本PTA全国協議会会長表彰

正田 敏明／西村 光正／神 美代子／乙藤 美那子

九州ブロックPTA協議会会长表彰

正田 敏明／西村 光正／神 美代子／乙藤 美那子

九州ブロックPTA協議会会长感謝状

正田 敏明／西村 光正

団体の部

文部科学大臣表彰

○福岡市立原小学校父母教師会

福岡県教育委員会表彰(平成23年度)

○福岡市立原小学校父母教師会

福岡市教育委員会表彰

○福岡市立美和台小学校PTA

○福岡市立東箱崎小学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

○福岡市立多々良小学校父母教師会

○福岡市立香陵小学校PTA

九州ブロックPTA協議会会长表彰

○福岡市立松島小学校父母教師会

○福岡市立田隈中学校父母教師会

日本PTA全国協議会主催広報紙コンクール

○佳作 福岡市立青葉小学校父母教師会

した。お詫びと訂正で誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

個人で受賞された方々を代表して、福岡市PTA協議会前会長 正田敏明氏は「受賞は長年にわたりPTA活動をはじめとする先生方、地域の皆さん、そして保護者の皆さんに支えていただきながらこそ続けられたことです。今後も、地上の星である愛してやまない子どもたちのためにがんばります」と話されました。

また、受賞された団体を代表して、福岡市立原小学校父母教師会 山下忠泰会長は「受賞できたのは、先輩方の活動を引き継いでやつてきたおかげです。これからも子どもたちのために地道に活動していくたいです」と話されました。

長年にわたりPTA活動をしてきたことによるものだと思っています。これは学長をはじめとする先生方、地域の皆さん、そして保護者の皆さんに支えていただきながらこそ続けられたことです。今後も、地上の星である愛してやまない子どもたちのためにがんばります」と話されました。

個人で受賞された方々を代表して、福岡市PTA協議会前会長 正田敏明氏は「受賞は長年にわたりPTA活動をはじめとする先生方、地域の皆さん、そして保護者の皆さんに支えていただきながらこそ続けられたことです。今後も、地上の星である愛してやまない子どもたちのためにがんばります」と話されました。

個人で受賞された方々を代表して、福岡市PTA協議会前会長 正田敏明氏は「受賞は長年にわたりPTA活動をはじめとする先生方、地域の皆さん、そして保護者の皆さんに支えていただきながらこそ続けられたことです。今後も、地上の星である愛してやまない子どもたちのためにがんばります」と話されました。



団体表彰



個人表彰

平成24年度各種表彰受賞 合同祝賀会

平成25年2月7日 ソラリア西鉄ホテル

各区PTA連合会の活動

青少年健全育成大会(研修会)を紹介します

①演題 ②講師 ③内容

南 区

小・中合同 H25・1・25

- ①心がけをひくとき～安心感と自立～
- ②西九州大学非常勤講師 臨床心理士 吉村春生先生
- ③子どものメンタル面を親はどうのようにケアするか

城南区

小・中合同 H24・11・12

- ①子どもには3つの顔がある
- ②福岡大学人文学部 教育・臨床心理学科 教授 野口徹氏
- ③「親・先生・友達」それぞれに対する子どもの3つの顔について

早良区

小学校 H25・2・14

- ①知っていますか インターネットの危険性
- ②早良警察署 生活安全課 竹内和久氏
- ③携帯電話使用の現状や、ネット犯罪から子どもを守る親の義務
- ④あきらめない生き方～思いやりの社会を目指して～
- ⑤山本浩之(ロンドンパラリンピック日本代表選手)・美也子夫妻
- ⑥山本氏自身の体験からお互いの立場を尊重する生き方について

中学校 H24・11・15

- ①「やればできる!を味わえば子どもは伸びる」
- ②春日南中学校 下野六太先生
- ③「世界一受けたい授業」でも紹介。現役体育教師の講演

西 区

小学校 H24・10・2

- ①家庭における心の教育
- ②草ヶ江小学校校長 小楠徹先生
- ③人権・道徳教育に関する心の悩みについて

中学校 H24・10・2

- ①命の授業
- ②カシオ計算機(株) 若尾 久氏
- ③命の大切さ、絆・命のリレー・心の成長について

中央区

小・中合同 H24・11・8

- ①トーク&ミュージック 生まれてきてくれてありがとうございます
- ②シンガーソングライター monさん
- ③子育ての話とやさしい歌声ライブで癒しの時間を楽しむ

博多区

小・中合同 H25・2・26

- ①ことばとこころ
- ②大野城まどかぴあ女性センター館長 林田スマ氏
- ③子育てコミュニケーションについて考える

2校とも、子どもたちに「私たちにも復興支援ができる」という意識づけ、親子で成し遂げる絆ができることを強く感じたと話してくれました。

被災地の報道を見て子どもたちや先生の気持ちが高まり、代表委員会担当の先生が発案で参加しました。インターネットで調べて活動を知ったそうです。回収ボックスもポスターも子どもたちが作成し、ベルマークボランティアで収集・配達していたPTAも協力

し、たくさんベルマークを送ることができたそうです。マーケットで収集・配達していたPTAも協力され、たくさんのベルマークを送ることができたそうです。花畑小学校

「ふれあいまつり」の実行委員会発案で、9・10月の参観日と11月の「ふれあいまつり」当日に回収BOXを設置。実行委員会で仕分けをし、財団に配達されました。普段ベルマーク運動には参加していないそうですが、親子でベルマークが付いている商品を探すなど親子ふれあいにもひと役かつたようです。

今日は単位PTAで取り組んでいる活動を紹介します。被災地のベルマーク運動参加校が商品を購入できるようになるべルマーク教育助成財団の「被災地助成寄贈ベルマーク」活動に参加した事例です。



伝えよう
みんなの心

心のきずな キャンペーン



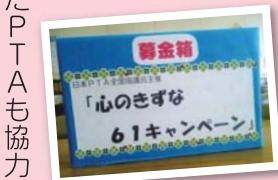
平成25年
3/9(土)
13:00~15:00

心のきずな61キャンペーン
募金活動をします!

福岡市PTA協議会の7区の小・中PTA連合会にご協力いただき、「こころのきずな61キャンペーン」の募金活動を行います。各区の募金場所は以下の通りです。お近くをお通りの際はぜひ募金活動にご協力ください!

西区	ダイエーマリナタウン店 木の葉モール橋本 イオンモール福岡伊都店
早良区	西新商店街 西新プラリバ前
城南区	ダイエー笹丘店
南区	大橋駅 高宮駅 井尻駅 長住商店街
中央区	大丸パサージュ広場 岩田屋本館前
博多区	JR博多駅構内1階メインコンコース
東区	JR香椎駅 JR千早駅 ゆめタウン博多

*会場が広い場合、また入口が数か所ある場合は、募金場所の特定はできませんので了承ください。



編集後記 博多弁

今回の「ふよう」どげんでした? 広報委員一同2回目の作成で、シカシ力できるはずやつたばつてん: そんな委員の紹介をします。昨年に引き続きの方が3名いますがふようファンならわかりますよね? 「記事が色分けしてあり見やすいです」とても内容の濃いものでたくさん活動をされ他のPTAの方に情報とめて掲載されているため、生徒に伝えるとき大変参考になる」

◎全体を通して「とても内容の濃いものでたくさん活動をされ他のPTAの方に情報とめて掲載されているため、生徒に伝えるとき大変参考になる」

●今後のふように望むこと「今後も学校や生徒との関わりが、保護者の方に伝わるような記事を望みます」

●東日本大震災被災地の今を訪ねて「今では福岡のニースなど東北の情報が流れることは少なくまだまた不自由な生活をしている方は多くて、子どもたちの心のケアなどが必要なのだと感じ、福岡でも募金を続けていかなければと思いました」「同じ親の立場での視察の様子や思いがとても心にひびきました」

●関心を持った記事は「特別支援教育啓発研修会」

「参加されていない方にもよくわかった」

お詫びと訂正で誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。
女川町 平成24年12月7日発行の「ふよう」112号で誤りがありました。

北崎中学校長	筑紫丘小学校長	東筑多小学校長	博多小学校長	南筑多小学校長	南筑多小学校長	中央筑多小学校長	中央筑多小学校長	城南筑多小学校長	城南筑多小学校長	早良筑多小学校長	西筑多小学校長
福岡中央校長	福岡中央校長	千早小学校長	筑紫丘小学校長	舞鶴小学校長	大名小学校長	城西中学校長	田嶋中学校長	百道浜小学校長	吉岐中学校長	城原小学校長	片山れい子
横手修	中尾万里子	平井太田	武井茂雄	緒方美奈子	富永順子	青見謙一郎	芭野つゆ子	二瀬楓原锐子	河野有美	松内有里	
田代修	輝人	幸子	茂雄	奈子	順子(副)	代子	可子	ゆ子	愉子	れい子	
お詫びして訂正させていただきます。	女川町	正誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤

112号モニターアンケートより

いかそう!読者の声